

「松山戦争」戦死者の冥福を祈る 殉難150年の節目に慰霊法要

明治元年に本市内で起きた「松山戦争」の戦死者を供養する法要が9月27日、匝瑳地区中台の史跡「脱走塚（水戸藩士の墓）」などで行われました。今年は150年目の節目に当たり、水戸市から高橋市長や戦死者の子孫などの関係者が参列し、同区住民などと合わせて計約150人が戦死者を悼みました。

松山戦争は、幕末に起きた水戸藩の内部抗争に関連し、中台周辺で起きた諸生党と天狗党の戦いで、諸生党が壊滅したとされています。この時に地域の人々が戦死者を葬り、供養碑を建てた場所が「脱走塚」と呼ばれるようになりました。

式典は、雨のために近くの龍性院で開催。諸生党の子孫の男性が追悼の辞を述べ、「亡くなった人を手厚く供養してくれ、今日まで守ってくれた地元の厚意に感謝します」と話しました。また、法要後には、両市関係者間の親睦を深める交流会が市民ふれあいセンターで行われました。



脱走塚の前で手を合わせる参列者



法要後の交流会で行われた芸能鑑賞



参加者全員で百歳体操のおさらいを行った

導入2年に効果実感の声

いきいき百歳体操交流会

市内で「いきいき百歳体操」に取り組む団体の交流会が10月4日、八日市場公民館で行われました。

百歳体操は、高齢者の筋力アップや介護予防のため、手首や足首に重りを巻き付け、合図に合わせてゆっくりと行う高知市が発案の体操です。本市では平成28年10月からスタートし、現在は12団体が約180人が取り組んでいます。

交流会は、普段は別々に活動する団体が連携し、協力して普及を図っていくことを目的に、導入2年で初開催したもの。10団体・約70人が一堂に会し、取り組み発表や体操の復習を行い、参加者からは「立ち上がる時手も着かないようになった」「関節の痛みが減った」など効果を実感する声が寄せられました。



本市出身のソプラノ歌手・永井千恵さんが美声を響かせた

飯高檀林コンサート

飯高寺講堂を舞台として10月7日、飯高檀林コンサートが行われました。

平成元年から始まり、23回目となった今回は、本市出身でドイツ在住のソプラノ歌手・永井千恵さんをゲストに招き、永井さんの友人の伊藤彩子さん（ピアノ）とゲルトルート・ヴァイホーフェンさん（マンドリン）との競演で開催。透き通った歌声とピアノ、マンドリンで作るハーモニーが檀林の森に響き渡り、観覧席を埋め尽くした来場者を魅了しました。

助け合いと連携強化を ボランティアフェスタ2018

のさかアリーナで10月14日、本市で活動するボランティア団体などが集うイベント「ボランティアフェスタ2018」が行われました。

8回目を迎えた今年は、20の団体や個人の参加に加えて、市内3中学校の生徒52人が運営に協力。各団体を紹介するブースの展示を始め、視覚障がいのある人の案内など手助けを行うガイドヘルプの体験や、歌や車いすダンス、劇の発表などが行われ、助け合いの心の醸成と団体間の連携強化を図りました。

参加者ら
ガイドヘルプの体験をする



地域の伝統行事紹介

この秋、各地で行われた季節の祭礼を紹介します。

水神社の秋の祭礼

椿海地区春海の水神社の祭礼が、10月6日・7日に行われました。御神体が仮宮を設けた当番区から神社へ戻る2日目の還御では、巫女衣装の子どもたちや猿田彦を先頭にして、威勢の良い神輿が区内を渡御しました。



威勢よく区内を渡御した水神社の神輿

六社大神 御神幸祭



荒波の中で行われた御浜下り

10月7日に行われた野田地区野手の六社大神の祭礼。早朝に神社を出発した神輿は、一日かけて区内を渡御し、野手浜では神輿をを担いだまま海に入る勇壮な「御浜下り」が行われました。

十二所神社 御神幸祭

栄地区川辺の十二所神社の祭礼が、10月7日に行われました。神社を出発した神輿は1年間の五穀豊穡や豊漁を祈願して、川辺区内から堀川、栢田の両区までを威勢よく練り歩きました。



十二所神社を出発した神輿

松山神社 秋の大祭



腰を下ろして神輿の通過を待つ人たち

10月13日に行われた匝瑳地区の松山神社の祭礼。この神社の神輿には、下をくぐると御利益があると伝えられています。境内の鳥居前には、神輿の出発に合わせて通過を待つ人たちが列を作っていました。

中学生模擬議会で積極発言



特産品のアピールについて質問した伊東郁野さん(野栄中・手前)と議長役の長谷川茉結さん(八日市場第二中)

市議会の運営を中学生が体験する模擬議会が10月9日に開かれました。これは、「地方政治と自治」をテーマに、体験学習を通じて議会の役割について認識を深めることを目的として毎年実施されているもので、市内3校の3年生から議員役に26人、傍聴人役に26人が参加。議員役の生徒のうち9人が登壇し、観光振興やまちづくりに関する質問を積極的に行いました。

全国大会出場生徒が表敬訪問



太田市長を表敬訪問した小川さん(左)と白土さん

卓球と陸上競技で、それぞれ全国大会への出場を控えた小川由夏さん(八日市場第二中・2年)と白土莉紅さん(同)が10月2日、太田市長を表敬訪問しました。

小川さんは、9月に行われた県大会で女子シングルス5位に入賞し、11月2日～4日に仙台市で開催される全日本卓球選手権大会(カデットの部)に出場します。白土さんは、ジュニアオリンピック陸上競技大会(10月12～14日・横浜市)の女子走り幅跳び(B区分)に出場し、2位に輝きました。

還暦野球チームが関東大会へ

60歳以上のメンバーで構成する還暦野球チーム・匝瑳フレンズが、第14回関東選抜還暦・古希軟式野球大会(9月22日～25日・群馬県伊勢崎市)に県代表として出場しました。結果は、初回到群馬県代表チームと対戦し、惜しくも1回戦で敗退しました。

創設3年目の匝瑳フレンズは、県内リーグの3部在籍。チーム関係者は、「底上げをしているところで、今後は2部昇格を目指します」と話していました。同チームへの問い合わせは、林さん(☎090-3400-6597)まで。

関東大会へ出場した匝瑳フレンズ(同チーム提供)

